

Aptima® Multitestスワブ採取セット

採取手順ガイド～医師による採取方法～*

Aptima® SARS-CoV-2アッセイ用鼻腔検体採取方法

Aptima® Multitestスワブは、Aptima® SARS-CoV-2アッセイを用いた鼻腔検体採取に使用できます。スワブをVTM、UTM、STM、生理食塩水、液体アミーズに保存することもできます。

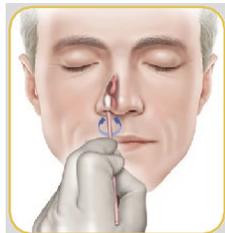
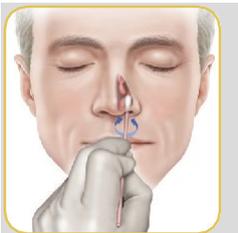


スワブのパッケージを開き、取り出します。スワブの柔らかい先端に触れたり、下に置いたりしないでください。柔らかい先端に触れたり、下に置いたり、落とした場合は、廃棄して新しいAptima® Multitestスワブ検体採取セットをご使用ください。黒いスコアラインを覆うようにシャフトの真ん中に親指と人差し指を置いて、シャフトを持ちます。シャフトのスコアラインより下を持たないでください。



【注意】Aptima® Multitestスワブでは鼻咽頭検体の採取はできません。

鼻甲介の位置で抵抗を感じるまで、片方の鼻腔にスワブを慎重に挿入します（鼻腔に挿入するのは2.5センチ未満）。鼻壁にあてながらスワブを数回回転させ、鼻孔から取り出します。



同じスワブを同様に、もう片方の鼻腔に慎重に挿入します（鼻腔に挿入するのは2.5センチ未満）。鼻壁にあてながらスワブを数回回転させ、鼻孔から取り出します。



スワブを手を持ったまま、チューブのキャップを外します。チューブの内容物をこぼさないでください。チューブの内容物がこぼれた場合は、廃棄して新しいAptima® Multitestスワブ採取セットをご使用ください。



直ちにスワブを検体搬送チューブに入れ、黒いスコアラインをチューブの最上部に合わせます。スコアラインをチューブの上端に合わせ、シャフトを慎重に折ります。シャフトの上部は廃棄します。



キャップをしっかり回して蓋をします。同じ患者から複数の検体を採取する場合は、検体の採取場所を識別できるようチューブラベルに検体採取場所を記入します。



Aptima® Multitestチューブ内の検体は、2°Cから30°Cで最大6日間保管できます。

* Hologicは、この採取手順ガイドを一般的な情報としてのみ提供しており、記載した手順を指示することを目的としておらず、手順に従った場合の安全性・性能を保証するものではありません。医師は、製品の添付文書を読んで理解し、適用される地方および国の規則や規制を遵守することに単独で責任を負います。

DS-10000-001_JP Rev. 001 © 2020 Hologic Japan, Inc. All rights reserved. Hologic、Aptimaおよび関連するロゴは、Hologic, Inc.と米国やその他の国々の子会社の商標または登録商標です。本書に記載の情報は医療専門家を対象としており、購入勧誘やプロモーションが禁止されている場所でそのような活動を行うことを意図したものではありません。各国で販売されている製品についての具体的な情報は、Hologic代理店または以下のアドレスまでお問い合わせください。

ホロジックジャパン株式会社

〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-25 日教販ビル
TEL:03-5804-2340 FAX:03-5804-2321
<https://hologic.co.jp>



届出番号：13B1X10179002006